

## ファイル交換用アプライアンス機能要件

### ○基本要件

- ・アプライアンスは、仮想環境で動作する仮想アプライアンスではなく、アプリケーション機能を装備したハードウェアを用意すること。
- ・システム利用開始時の利用ユーザー数は800ユーザー、同時利用ユーザー数は最大10ユーザーとする。

### ○初期設定

- ・以下に示す機能要件については、アプライアンスに各機能を実装の上納品すること。
- ・アプライアンスと項番3の無停電電源装置（※）との連動については、項番5の無停電電源装置管理用ソフト（※）をインストールし自動シャットダウン・起動を確認の上納品すること。
- ・その他設定内容については、メーカーと神戸市で協議の上必要な初期設定が行えるよう調整すること。
- ・最終動作確認時にはメーカー立ち会いのもと動作検証を行うよう調整すること。

※別紙1「インターネット仮想接続用サーバー機器等賃貸借機器内訳書」参照

### ○機能要件

No	分類	詳細
1	インターフェース 全般	操作画面・操作ボタン等のインタフェースが日本語表示に対応していること。
2		Webブラウザを介してファイルの送受信機能を利用できること。
3	認証機能	ログインの認証において、Active Directoryと連携が可能であること。
4		クライアント端末のネットワークアドレス毎に使用するセグメントを自動判定するなど、ユーザーがセグメントを意識することなく利用できること。
5		ログイン画面に利用者へ向けたいお知らせを表示することができること、内容をシステム管理者が自由に設定できること。
6		認証成功時に利用規約画面を表示することができること、表示内容及び表示の有無はシステム管理者が自由に設定できること。
7	ファイル 交換機能	セグメント間でファイル交換が行える仕組みであること。
8		ウイルス対策ソフトによりアップロードされたファイルのウイルスチェックが可能であること。
9		ファイル形式を認識し、拡張子が適合しているかを確認することができること。
10		アップロードしたOfficeファイルは自動的にPDF化またはファイル無害化されること。
11		ファイルを選択する際ドラッグ＆ドロップに対応すること。
12		ファイルダウンロードする際にパスワード付ZIPファイルに変換することができること。
13		容量不足時にファイルアップロードを制限する機能を有すること。
14		ファイル転送の同時実行を制限する機能を有すること。
15	ファイル	以下のMicrosoft Office ファイル及びJUST Office ファイル（ver3及び4）よりマクロ、OLE、ActiveX、DDEを除去することができること。また、挿入されている画像ファイル（jpg、jpeg、tif、tiff、png、gif、bmp）のメタ情報を除去して再挿入できること。 「xls」、「xlsx」、「xlsm」、「ppt」、「pptx」、「pptm」、「doc」、「docx」、「docm」
16		以下のパスワード付きファイルを展開して無害化することができること。 「xlsx」、「xlsm」、「docx」、「docm」、「pptx」、「pptm」
17		以下の一太郎ファイルよりマクロを除去することができること。 「jtd」、「jtdc」
18		以下の花子ファイルよりマクロ、OLE、画像を除去することができること。 「Jhd」
19		PDFファイルよりスクリプトを除去することができること。
20		パスワード付きのpdfファイルを展開して無害化することができること。
21		以下のCADファイルよりマクロを除去することができること。 「dxf」、「dwg」

No	分類	詳細
22	無害化機能	jww形式, SFC形式, P21形式, xdw形式, xbd形式, xct形式, dcm形式のファイルをバイナリレベルでファイルタイプの確認を行い, 偽装の可能性がある場合は除去することができること。
23		rtf (リッチテキスト) 形式のファイルよりOLE・ハイパーリンクを除去することができること。
24		以下の画像ファイルよりメタ情報を除去し再構成することができること。 「jpg」, 「jpeg」, 「tif」, 「tiff」, 「png」, 「gif」, 「bmp」, 「wdp」, 「ico」
25		以下の動画, 音声ファイルよりメタ情報を除去し再構成することができること。 「mp4」, 「wmv」, 「wma」
26		csvファイルより外部関数を実行できない状態にすることができること。
27		以下の圧縮ファイルを展開し内部のファイルを再帰的に無害化できること。なお, 内部のファイルが無害化非対応のファイルの場合, 同ファイルは削除され無害化可能なファイルのみ再構成すること。また, 削除されたファイルをユーザーが確認することができること。 「zip」, 「cab」, 「lzh」, 「7z」, 「rar」, 「tar」, 「bz2」, 「gz」, 「xz」
28		パスワード付のzip, 7z, rarを展開して無害化することができること。
29		ファイル無害化可能でないファイルの場合, その旨を画面上に通知する機能を有すること。
30	上長承認機能	上長承認機能を有していること。
31		上長は複数名登録することができること。
32		セグメント毎に上長はセグメントを指定して登録することができること。(転送元とは異なるセグメントでも承認ができること)
33		アップロード登録の際にコメントを登録できる機能を有し, 承認者へ通知できること。
34		上長承認の依頼通知は電子メールで自動的に送信されること。電子メールにはURLを記載し, クリックすることで承認画面に直接遷移できること。
35		承認, 非承認の通知を依頼者に対して電子メールで自動的に送信されること。電子メールにはURLが記載されており, クリックすることでダウンロード画面に直接遷移できること。
36	ユーザー管理機能	ユーザーの一括登録機能を有していること。
37		ファイル操作のログを取得できること。日時, ファイル名, ユーザー名, 接続元IP情報等を取得できること。
38		Active Directoryと連携を行い, ファイル交換システムを利用する利用者情報を自動登録できる仕組みが実装されていること。
39		Active Directoryと連携を利用する場合もActive Directoryと連携しないローカルユーザーを別途設定できること。
40		ファイル交換システムに登録できる利用者は職員数に関係なく登録可能であること。
41		ユーザーの利用を停止する機能を有すること。
42	セグメント管理機能	異なるセグメント間でのファイルの受渡しにおいて, セグメントAからセグメントB, またはセグメントBからセグメントAへなど受け渡しを行う方向性によって拡張子制限, 上司承認の有無, PDF化またはファイル無害化機能の有効, 無効化の設定が柔軟に可能であること。
43		セグメント毎に受け渡しのできるファイルの拡張子を制限できること。
44		セグメント毎に無害化, PDF化, 非無害化の有効/無効を設定することができること。
45		セグメント毎に上長承認の要/不要を設定することができること。また上長承認は非無害化の場合のみ実施する設定ができること。
46	その他	ユーザーが識別しやすくする為, セグメント毎に背景色などを設定できること。
47		操作ログをcsvファイル等で出力することができること。
48		ファイルの保存期間を設定できること。
49		syslog転送する機能を有すること。
50		システム名, ログの差し替えができること。
51	その他	ログイン画面にお知らせを編集することができること。

No	分類	詳細
52	管理機能	利用規約を編集することができること。
53		上長承認通知メール、承認メールの文面を編集することができること。
54		システム設定のバックアップができること。
55		SNMP設定機能を有すること。
56		システムに対しhttpからアクセスがあった際、https通信にリダイレクトする機能を有していること。
57	サポート	サポート依頼方法は電子メール・電話に対応できること。
58		サポート受付時間は月～金曜日 9時～18時（土日・祝日・メーカー休業日を除く）とすること。ただし電子メールによるご連絡については24時間365日受付可能とすること。
59		ハード障害発生時においては、センドバック保守もしくはオンサイト保守対応を行うこと。なお受付時間は、月～金曜日 9時～18時（土日・祝日・メーカー休業日を除く）とする。
60		製品仕様に関するお問合せ対応や問題発生時には問題解決支援を行うこと。またサポート効率性の観点からパッチは郵送などではなくwebからダウンロードなどオンラインでの提供が可能なこと。
61		最新版ソフトウェアへのバージョンアップパッチを適宜提供すること。
62		遠隔サポートツールを使用し、インターネット経由でリモートサポートが行えること。また、リモートサポートを行うのに別途保守オプション費用は不要なこと。
63		導入後5年間サポートすることができること。
64	その他	設定変更等が市管理者の自席PCから作業が行えること。
65		職員数の増減によってライセンス費用が変化しないこと。
66		タイムゾーン設定機能を有すること。